
ノーライフ

もりそば

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ノーライフ

【Nコード】

N3205Y

【作者名】

もりそば

【あらすじ】

「私」は死のうと思った、から始まる決意と葛藤の行方を書いてみた習作。

※別名表記で、某投稿型掲示板のユーザースペースをお借りして書いたものを少し修正して再掲載させていただきました。

私は「死のう」と思い立った。

いまさら後悔もない。もう少し我慢してみろと誰かに言われる筋合いもない。私はこれまで十分に忍耐を重ね、出した答えをじっくり吟味してきた。その結果が「自殺」だっただけのことである。

朝六時に起き、いつものように学校へ向かい、いつものように蔑みの対象として甘んじる。しかし延々と繰り返されてきた日常も昼休みをもって終了だ。私は独り黙々と弁当を平らげながら脳裏に死後の解放を思い描いた。

そして午後十二時三十分現在。

私は最後の一步を踏み出そうか否か、いまだに迷っていた。

変だ。ついさっきまでは死ぬ気がみなぎっていたのに。いざ屋上へ昇り地を見下ろした途端無意識のうちに息を呑み込んだ。どうやら渾身の覚悟は咀嚼した玉子焼きとともに胃袋へ落ちてしまったらしい。

おかしいな。去年からずっと、そして先月からはことさら「死んだ方がマシだ」と心を黒く塗りつぶすほどいじめ抜かれてきた私が、死を恐れているのだろうか。

たった一步進み出るだけでいいのに。そうすればこの苦しみを捨て去ることができる。どうしたというんだ。平日は夜から、そして休みには日がな一日私を癒してくれた、電腦世界のパラダイスではない本当の意味での現実から逃れることができる。

だがもし仮に失敗でもしたら？

学校中の騒ぎとなり、病院へ送られた後に待つ風評を思うと足が

すくんだ。失敗は許されない。万一命が助かれば、それこそ今のよ
うな程度の辱めを受けている方がよっぽど楽だ。やるなら全力でや
らねばならない。

凍りついた足をどうにか慣らし、再びフェンスに手を掛ける。死
ぬにはもってこいの晴れ模様だ。

今日は習慣となっていた購買への使い走りを初めて放棄してきた。
元から私にあとなどない。ちらりと出入り口横の時計を見る。予鈴
まであと三分。

背中を押されるような高揚感が私を襲った。しくじるものか。
喉を鳴らす。再び芽を出す覚悟を両手に握りしめ、上体を浮かせ
た。

行こう。家族よ、人世よ、いざさらば。

勢いのまま大空へ飛び込もうとしたそのときだった。

眼下に広がる、校舎前の道路に老婆を見た。

直進の路。腰を曲げた背後へぐんぐんと迫る白いスポーツカー。
緩まぬスピード。運転手は見えていないのか。

あれでは、ぶつかる。

「あぶない！」

私は聞こえるはずもないのに強く叫んでいた。車は平然と脇をす
り抜けて行った。

地面に倒れ込む老婆を呆然と眺める私の耳に、午後を知らせるチ
ヤムが響く。一昨日から調律がおかしいのだそうだ。間の抜けた
旋律を背に、糸が切れたようにその場へしゃがみ込んだ。

そうだったのかと思い知らされた。

拭いきれぬ恐怖は真実であったこと。老婆の無事に心底安堵し、その嬉しさは実は自分にも向けられていたこと。そして死を恐れる私は、つまりこんなにも、生きたがっていたのだということ。

午後の時限が始まっている。

私は袖口で顔を拭い、ただがむしゃらに階段を駆け降りた。

「なんだ小林。遅刻か？ あんまり急ぎ過ぎて転ぶなよ」

階下の踊り場で資料を抱えた担任とすれ違う。にこやかな笑みへ会釈を返し、ひたすら走った。

元から私にあとなどない。

矢面に立たされているのなら、もう前へ突っ込むしかなかろう。

「だいじょうぶですか！」

私は走った。

昇降口の先へ、いまだに倒れたまま動けずにいるかもしれぬ老婆のところへ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3205y/>

ノーライフ

2011年11月8日18時04分発行